

令和4年亀岡市議会定例会12月議会一般質問

亀岡市議会

令和4年亀岡市議会定例会12月議会 一般質問順序予定表

| 開催日及び開始予定時間 | | 質問者 | | 質問方式 | | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|------|--|
| 12月6日(火) | 10:00~ | 個人 | 1 | 富谷加都子 | 一問一答 | |
| | 10:45~ | | 2 | 大塚 建彦 | 一問一答 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 13:00~ | | 3 | 木曾 利廣 | 一問一答 | |
| | 13:45~ | | 4 | 長澤 満 | 一問一答 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 14:45~ | 5 | 藤本 弘 | 一問一答 | | |
| 12月7日(水) | 10:00~ | 個人 | 6 | 浅田 晴彦 | 一問一答 | |
| | 10:45~ | | 7 | 木村 勲 | 一問一答 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 13:00~ | | 8 | 田中 豊 | 一問一答 | |
| | 13:45~ | | 9 | 山本由美子 | 一問一答 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 14:45~ | | 10 | 小川 克己 | 一括 | |
| 15:30~ | 11 | 竹田 幸生 | 一問一答 | | | |
| 12月8日(木) | 10:00~ | 個人 | 12 | 三上 泉 | 一問一答 | |
| | 10:45~ | | 13 | 奥野 正三 | 一問一答 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 13:00~ | | 14 | 松山 雅行 | 一問一答 | |
| | 13:45~ | | 15 | 並河 愛子 | 一問一答 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 14:45~ | | 16 | 平本 英久 | 一問一答 | |
| 15:30~ | 17 | 三宅 一宏 | 一問一答 | | | |
| 12月9日(金) | 10:00~ | 個人 | 18 | 西口 純生 | 一問一答 | |
| | 10:45~ | | 19 | 赤坂マリア | 一括 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 13:00~ | | 20 | 齊藤 一義 | 一問一答 | |
| | 13:45~ | | 21 | 石野 善司 | 一問一答 | |
| | | | 休憩 | | | |
| | 14:45~ | 22 | 菱田 光紀 | 一問一答 | | |

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和4年亀岡市議会定例会12月議会 一般質問通告書

| 番号 | 質問者 質問日時 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|--|-------------|--|-------------|
| 1 | 富谷加都子 12月6日(火) 10:00～ ※一問一答 | 1 不登校支援について | 文部科学省調査で、全国の小・中学校で2021年度に不登校だった児童生徒は前年度に比べ24.9%増の過去最多24万人超えと公表された。本市も類に漏れず年々不登校児童生徒が増える現状である。予期せぬコロナ禍の長期化等重なり合う課題を見据え、学校内外での効果的な居場所や各種取組の充実について問う。 (1)直近での小・中・義務教育学校の不登校児童生徒数は。 (2)文部科学省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」の中に、不登校児童生徒への支援に対する基本的な考え方が示されているが、本市教育委員会としての支援に対する考えとは。 (3)不登校支援として未然の早期支援や不登校児童の支援体制を整えているが、各種支援の詳細について問う。 ①スクールカウンセラー9人の巡回相談は、月何回くらいの頻度で、実施しているのか。 ②別室登校は、全ての学校に整備されているのか。また、現状別室登校をしている児童生徒は何人おり、心の居場所サポーターは、マンツーマンで対応しているのか。 ③まなび・生活アドバイザーは、普段どこの学校に配置され、スクールカウンセラーと同じく学校の巡回はあるのか。 ④不登校手前の早期支援は、不登校対策支援員の役目と考えるが、不登校支援員が配置されている学校は。また、未然に回避につながったケースはあるのか。 ⑤相談ケースが増加傾向にあり、保護者や担任等の寄り添い支援は重要と考える。現状での相談支援における課題はあるのか。 (4)学校以外の居場所の一つに適応指導教室やまびこ教室・ふれ愛教室があるが、本市の児童生徒の利用数は。 (5)学校内外を問わず、不登校児童の居場所が整備されつつあるが、既存の居場所につながらず引きこもり傾向の不登校児童生徒は何割を占めるのか。 (6)既存の適応指導教室の課題として、小学生については、移動時の安全確保を担保するため、毎日保護者の送迎が必須とされており、仕事を持つ保護者には負担である。通いやすい環境整備として他の地域等にも設置の考えはあるのか。 (7)不登校支援は、学校、各種関連団体、地域が | 教育長 所管部長 |

| | | | | |
|---|--|--------------------------|---|------------|
| | | 2 子育て支援の充実について | <p>強みを生かし、受皿として多様な居場所や気軽な相談支援としての機能が発揮できればと考える。今後の展開として、横断的な連携で、多様性を受け入れられるプラットホームのような拠点を整備する考えはあるか。</p> <p>(8)不登校児童生徒の学びの保障として、ICT教育の取組の現状は。</p> <p>国は、総合経済対策として公明党の主張を踏まえ、妊娠時から出産・子育てまでの伴走型相談支援を充実させ、特に支援が充分でないゼロ歳から2歳児へ、必要なサービスや物が行き渡る経済支援を一体とした出産・子育て応援交付金事業を創出する。本事業を効果的に活用し、さらなる子育て支援の充実を求めたい。</p> <p>(1)既存の伴走型支援を生かし、今後どのような支援策につなげ充実しようと考えているか。</p> <p>(2)ゼロ歳児から2歳児を支援するため、今後は、現金ありきではなく、妊娠・出産・育児関連用品のクーポンや、一時預かり、家事支援等のサービス提供等を本事業に組み入れる考えはあるか。</p> <p>(3)子育て支援の充実として、知人・親族等の助けが困難な未就園児童を抱える保護者に、育児や家事等を援助してくれる子育てヘルパー派遣制度は必要であると考えている。以前、家事支援サービスなどの受皿確保の課題があったが、見通しはついたのか。</p> <p>(4)多子世帯の保護者から、運転免許がなく母子保健事業利用時の移動経費の負担が重いとの声がある。移動経費を経済支援のサービスに導入できないか。</p> <p>(5)妊娠から出産、育児まで、子育て支援サービスをオンライン化でフルサポートする母子手帳のアプリを導入する考えは。</p> | 市長 所管部長 |
| 2 | 大塚 建彦 12月6日(火) 10:45～ ※一問一答 | 1 教育現場等におけるマスクの着用と黙食について | <p>令和4年10月31日、「子どもたちのえがおの会」が桂川市長と面談され、子どものマスク着用に関する要望が行われた。本来、マスクの着用は任意であるが、長引くコロナウイルス感染症やインフルエンザの影響等により、基本的な感染症対策としてマスクの着用が推奨され、あたかも「義務」や「強制」であるかのような雰囲気日本社会全体を覆っている。</p> <p>(1) マスクの着用に関する市長の見解は。</p> <p>(2) 同団体が行った市長面談の結果を受け、令和4年11月8日に神先教育長名でメッセージが発出されているが、その主旨と具体的な内容は。</p> <p>(3) 教育現場では、マスクの着用、非着用について、教員、保護者、児童生徒、それぞれに見解の相違が認められるが、それが差別や不登校につながることはないか。</p> | 市長 教育長 |

| | | | | |
|--|--|--|---|--------------------|
| | | <p>2 ごみ出し支援の特別交付税措置について</p> | <p>(4) 飛沫感染を防ぐため、現在も昼食時には黙食が行われているが、今後の方針は。</p> <p>総務省は、2020年3月に「ごみ出し支援」制度を創出し、特別交付税措置を講じた。単身の要介護者や高齢者、障がい者等ごみ出しが困難な状況にある世帯に対して、市町村が実施するごみ出し支援について、国が交付税措置を行うという内容である。亀岡市においても、令和2年度と令和3年度に篠町と畑野町で試験的に事業を実施している。</p> <p>(1) 国による「ごみ出し支援」の特別交付税措置とは、どのようなものか。</p> <p>(2) 亀岡市に交付される交付税の金額は。</p> <p>(3) 試験的に実施した事業の検証結果は。</p> <p>(4) コロナ対策等で事業の本格実施が遅れているが、今後の見通しは。</p> <p>(5) 本事業の運営主体はどこか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| | | <p>3 子どもファースト宣言における放課後児童会の運営方針について</p> | <p>子どもファースト宣言の第一弾、保育園等におけるおむつの提供、処理の無料化が始まった。今後、12月議会の議案審査を経て、放課後児童会の一家族2人目以降無料化や時間延長等が実施される予定である。令和4年9月議会でも質問したが、放課後児童会の運営方針等について改めて問う。</p> <p>(1) 平日午後7時まで時間を延長することに対し、現場で働く支援員から様々な意見が出ているが、どのように捉えているのか。</p> <p>(2) 平日の時間延長や土・日曜日に実施するためには、支援員が不足することも考えられるが、どのように対応するのか。</p> <p>(3) 放課後児童会の民間委託を検討してはどうか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| | | <p>4 旭町における解決すべき課題について</p> | <p>長年、地域こん談会で旭町から第一要望として挙げられていた「境川の砂留堰堤工事の早期着工に関する要望」が、令和4年度になくなった。これは、京都府が行う上流部の堰堤本体工事と亀岡市が行う下流部の排水路工事に目途がついた結果であり、関係各位に感謝したい。一方で、長年にわたり、印地区の地域住民を悩ませている牧場からの臭気問題は、解決に向けて進展が見られず、早期解決に向けた行政指導が望まれる。</p> <p>(1) 従来手法に加え、問題解決に向けた新たな取組を考えているのか。</p> <p>(2) 継続的な臭気測定に加え、周辺の水質検査では何を測定しているのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| | | <p>5 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想の進捗につ</p> | <p>JR亀岡駅南から城下町地区を対象とする亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想は、令和5年度の完成を目指し工事が進行している。特に再開発も含めた駅南のシンボルロードの完成</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
| | | いて 6 福祉行政のさらなる進展について | が待ち望まれている。 (1) にぎわいを創出するため、歩道や隣接する民地で行われる朝市、オープンカフェやキッチンカー等による催しを毎週土・日曜日や京都サンガF.C.の試合に合わせて開催してはどうか。 亀岡市における障がい者福祉行政について問う。 (1) サンスタジアムにおける障がい者就労支援について、次年度の開催予定は。 (2) 亀岡小学校では、児童が自然なこととして、自主的に支援学級の児童に寄り添い、補い合うことが日常的に行われている。亀岡市内の支援学級のモデルケースとしてはどうか。 (3) 京都府立丹波支援学校の卒業教育として、サンスタジアムにおける障がい者就労支援に参加してはどうか。 | 市長 所管部長 |
| 3 | 木曾 利廣 12月6日(火) 13:00~ ※一問一答 | 1 市長の政治姿勢について 2 車中泊避難場所（野水池跡地）の計画について 3 環境行政について | 第5次亀岡市総合計画で令和5年以降の本市の課題について問う。 (1) 新火葬場整備計画について、今後の取組は。 (2) 生涯学習施設ギャラリーかめおかの長期改修計画とその財源確保は。 (3) 多目的文化ホール及び文化資料館の建設計画について、多くの人の期待がある点を踏まえての考えは。 (4) 建築から32年がたった市役所本庁舎の改修計画は今後どのように進められるのか。 (5) 6年後の実施を発表された、中学校給食の実施計画は。 令和4年9月議会で指摘した、野水池跡地の調査結果と用地取得交渉結果について問う。 (1) 地質調査を実施して、どうであったのか。 (2) その内容で、亀岡市にある大きな断層で予想される、震度7クラスの地震に耐えられるのか。 (3) 用地交渉で、取得交渉の結果はどうであったのか。 (4) 予算額1億6,000万円の計画は、本当に必要か。 本市は環境先進都市として国内外に注目され取組が進むが、現在、亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例をどのように検証しているのかを問う。 (1) エコバックの普及はすばらしいが、現状は。 (2) 紙袋について、共同購入に係る補助制度は2年間で終了し、個別購入に係る補助制度は今年度まで継続中とのことであるが、現状は。 (3) 個人事業者やコンビニ、観光客等来訪者に | 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|-----------------------------|--|------------|---------|----------|----------|----|------------|---------|------------|-------|------------|----|-------------|-------------|------------|-----------|---------|-------|------------|-------|----------|----|-------------|------------|
| | | <p>4 28年間の議員活動の振り返りについて</p> | <p>意見聴取しているのか。 (4) 他都市（京都府内）での取組の現状は。 (5) 先行して取り組んだ、本市の問題提起を国はどのように捉まえているのか。</p> <p>現在の社会状況（ウクライナ情勢）を考えたとき、円安、物価高、少子化、高齢化、収束しない新型コロナウイルス感染症への対策の中で、本市の進むべき方向について問う。 (1) 財源確保と施策の選択、思いやりの施策が必要と思うがどうか。</p> | 市長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <p>長澤 満 12月6日(火) 13:45～</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市民の市政や生活に対する思いについて</p> | <p>共産党議員団は亀岡市民対象に「くらしのアンケート」を実施した（概ね全戸配布、11月24日現在449通回答）。その結果、下記の通り、市民は市政や生活に厳しい思いを持つ（()内％）。</p> <p>○現在の亀岡市政についてどう思いますか。</p> <table border="0"> <tr><td>満足している</td><td>4人（1.0）</td></tr> <tr><td>やや満足している</td><td>31人（7.4）</td></tr> <tr><td>普通</td><td>134人（31.8）</td></tr> <tr><td>やや不満である</td><td>130人（30.9）</td></tr> <tr><td>不満である</td><td>122人（29.0）</td></tr> <tr><td>合計</td><td>421人（100.1）</td></tr> </table> <p>○あなたのくらしについて、去年と比べて。</p> <table border="0"> <tr><td>きびしくなったと感じる</td><td>298人（68.7）</td></tr> <tr><td>よくなったと感じる</td><td>6人（1.4）</td></tr> <tr><td>変わらない</td><td>112人（25.8）</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>18人（4.1）</td></tr> <tr><td>合計</td><td>434人（100.0）</td></tr> </table> <p>(1) このような市民の意識も受けとめて、市政を進める必要があると思うが、この結果に対する所見はどうか。</p> <p>(2) アンケートでは「本市に優先的に取り組んでほしい施策」として7分野68項目から選択いただいた（複数回答）。これを踏まえて問う。</p> <p>①回答比率の最も高いのは「上下水道料金など公共料金の引き下げ」53.5％、次に「介護負担（保険料・利用料）の軽減」47.2％である。現在、国は要介護1・2を保険給付から外すこと等の改定を検討している。この改定の中止を国に求めているがどうか。</p> <p>②「歩行者や自転車が安全な道路整備」43.4％、「移動しやすい公共交通」40.5％も回答比率が高い。コミュニティバス等の公共バス路線の希薄な地域がなお残る（例えば大井町～中心部、等）。高齢社会等の下で、需要の把握を含め、どう充実を図るのか。</p> | 満足している | 4人（1.0） | やや満足している | 31人（7.4） | 普通 | 134人（31.8） | やや不満である | 130人（30.9） | 不満である | 122人（29.0） | 合計 | 421人（100.1） | きびしくなったと感じる | 298人（68.7） | よくなったと感じる | 6人（1.4） | 変わらない | 112人（25.8） | わからない | 18人（4.1） | 合計 | 434人（100.0） | 市長 所管部長 |
| 満足している | 4人（1.0） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| やや満足している | 31人（7.4） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 普通 | 134人（31.8） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| やや不満である | 130人（30.9） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不満である | 122人（29.0） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 421人（100.1） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| きびしくなったと感じる | 298人（68.7） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| よくなったと感じる | 6人（1.4） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 変わらない | 112人（25.8） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| わからない | 18人（4.1） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 434人（100.0） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>2 新型コロナ禍対策について</p> | <p>新型コロナウイルス感染症は「第8波」の到来も懸念されている。同感染症対策として、本市の施策とともに、関係機関の重要な施策が実施されてきた。これらについて今後、同感染症対策と生</p> | 市長 所管部長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|---|-------------------------------------|-----------------------------|---|--------------------|
| | | <p>3 重層的支援体制整備事業について</p> | <p>活・経済の再生を促進するため、本市としてどのような協力や要請をすればよいかを問う。</p> <p>(1) 生活者に対し、国の施策を受けて社会福祉協議会の生活福祉資金貸付（小口資金・総合資金）が進められ、今後その償還を迎える。</p> <p>①住民税非課税世帯は貸付資金の償還が免除されることとされている。この資金貸付は本市の所管ではないが、償還免除の利用は円滑に進んでいると理解しているか。</p> <p>②この資金貸付や償還免除の利用を通じて、社会福祉協議会や本市に生活困難の克服のための相談は寄せられているか。また、相談にどのように対応していくのか。</p> <p>(2) 事業者に対し、国の施策を受けて無担保無利子融資等の制度融資が進められ、今後その償還を迎える。</p> <p>①金融機関や関係機関に対し、新型コロナ禍が広がりだした令和2年当時のように、弾力的対応を要請することとしてはどうか。</p> <p>②緊急の対応を求めつつ、地域の経済経営が自律的に回復していくことが重要である。そのため本市としての方針はどうか。</p> <p>本市は「地域共生社会」に向けて重層的支援体制整備を準備しており、そこでは「相談支援」が重要である。ある論説（菊池馨実『社会保障再考－〈地域〉で支える－』2019年）を参照しても、「相談支援」は福祉の「給付」に付随するとともに、人権保障の上に共生社会を築く支柱となる。</p> <p>(1) 上記のアンケートでも「市民の声がよく届く行政」46.3%、「丁寧で市民に寄り添う職員対応」33.6%の要望が多い。市民の相談に「どのような制度で対応可能か」、「ある制度でどこまで対応可能か」等の課題がある。重層的支援体制でどのように対応するのか。</p> <p>(2) 市民の複合的な相談に対して、ある制度の利用を判断するのは、最終的にいわゆるタテ割りの担当部課になるのではないかと。本市役所内の「福祉なんでも相談窓口」をはじめ、部課横断の体制をどのように整え、相談支援の機能向上を図るのか。</p> <p>(3) 本市において福祉事業のほかに、社会課題の解決に貢献しようとする地域団体の状況はどうか。本市役所外の地域団体をはじめ、社会資源との連携をどのように整え、守秘義務に配慮しながら、相談支援の機能向上を図るのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| 5 | <p>藤本 弘 12月6日(火) 14:45～</p> | <p>1 新型コロナウィルス感染症対策について</p> | <p>専門家の間でも「第8波」の襲来が告げられたが、新型コロナとインフルエンザの同時流行が懸念されるため、各都道府県にも警戒と対応が求め</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|--|--------------|---|---|--|
| | <p>※一問一答</p> | <p>2 ふるさと納税の着実な推進について</p> <p>3 河川改修工事について</p> <p>4 道路整備工事について</p> | <p>られている。</p> <p>(1) 亀岡市におけるワクチン接種の進捗状況と接種率は。(全体的な接種率と4回目の接種率)</p> <p>(2) ワクチン接種の推進と接種率を上げるために、どのような対策を取っているのか。</p> <p>(3) 11月22日、新型コロナウイルス感染症の飲み薬「ゾコーバ錠」が塩野義製薬によって開発され、国内産初の飲み薬として承認された。12月上旬にも供給開始されると聞かすが、どのようにすれば入手できるのか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルスの症状(鼻水、のどの痛み、せき、発熱、倦怠感)は、インフルエンザの症状とよく似ていると聞かすが、どのように見分ければよいのか。</p> <p>(5) 新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザワクチンは、同時に接種しても大丈夫か。</p> <p>(6) 飲み薬「ゾコーバ錠」は妊産婦には使えず、また併用できない薬もあると聞かすが、注意すべき点は。</p> <p>(7) 年末年始の流行に向けての対策と啓発は。</p> <p>今年度のふるさと納税は、前年度を上回る勢いであると聞く。</p> <p>(1) 現在の状況と今年度の見込みは。</p> <p>(2) 今年度も30億円を突破することができれば、2年連続の30億円超えとなる。来期の目標額や対策の考えは。</p> <p>(3) 亀岡市にダイソンのような大手で大規模な生産工場があればよいと考えるが、工場誘致も含めて何か検討されているのか。</p> <p>北町橋上流の護岸工事とその隣接する道路側溝の整備が急ピッチで進められている。</p> <p>(1) 現在の雑水川河川改修工事の進捗状況と今後の見通しは。</p> <p>(2) 土橋の横を流れる、西町から北町の会議所(銚子の収納庫)の横を通り、雑水川へと流入する河川が、大雨が降るとあふれると聞く。地元説明の状況と河川改修の計画は。</p> <p>(3) 雑水川の河川改修は、春日橋・春日小橋の整備も含め、JR亀岡駅南側の開発整備計画と大きく関わってくる。今後の整備計画と完成目標年は。</p> <p>道路整備工事について問う。</p> <p>(1) 兵庫県篠山方面から国道372号を通り、府道亀岡園部線とサンガスタジアムを結ぶ府道宮前千歳線鳴滝工区の整備が、府の事業として急ピッチで進められている。府道宮前千歳線鳴滝工区の進捗状況と完成時期は。</p> <p>(2) 大阪府・兵庫県と亀岡市を結ぶ大動脈であ</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
|--|--------------|---|---|--|

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
| | | <p>5 南つつじヶ丘外周道路の歩道整備について</p> | <p>る、国道423号の法貴バイパス工事が山沿いに進められている。</p> <p>①法貴バイパス工事の進捗状況と完成目標年は。</p> <p>②明智の戻り岩から西別院町犬甘野に向けての山沿いの道路は工事が進んでいるが、この区間の供用開始時期は。</p> <p>③曾我部町犬飼から国道423号明智の戻り岩までの橋梁計画は、現在鉄骨が組み込まれている。大変危険な箇所であり、あまり進捗が見られないが、完成目標年は。</p> <p>昨年4月には、南つつじヶ丘西側外周道路の舗装と白線の引き直しを実施いただき、大変感謝している。</p> <p>(1)南つつじヶ丘西側外周道路の京都縦貫自動車道の陸橋から大葉台1丁目のさとう整形外科医院までの両側の歩道の傷みが激しく、街路樹の根が歩道に盛り上がり大変危険であると言われている。早急に工事する必要があると考えるが、予定は。</p> <p>(2)定期的に見回りされていると聞かすが、どのくらいのペースでされているのか。また、その方法は、車もしくは歩いての見回りか。</p> <p>(3)桜台2丁目の大日谷公園東側の外周道路の歩道も、街路樹の根が張って大変危険である。早急の対応が必要であると考え、予定は。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| 6 | <p>浅田 晴彦 12月7日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市庁舎等におけるウォームビズの取組について</p> <p>2 市職員のAEDの取扱い等について</p> <p>3 京都スタジアム内のクライミング施設について</p> <p>4 高齢者世帯等への避難誘導體制の確立について</p> | <p>電気代等が高騰する中、今冬の市庁舎等における節電の試みとして、ウォームビズの取組について問う。</p> <p>(1)市職員の服装に配慮する取組を実施する考えは。</p> <p>AEDの取扱い等に係る救命講習を受講し、緊急時に救命の対応ができる職員の状況について問う。</p> <p>(1)市職員の講習修了者の人数は。</p> <p>(2)毎年講習を実施し、更新しているのか。</p> <p>京都スタジアム内にある室内クライミング施設において、これまでに上級コースの利用者が落下時にけが等をされており、現在は応急的にマットなどを設置して使用されている。</p> <p>(1)今後、京都府において、改修工事を実施されると聞かすが内容は。</p> <p>(2)改修工事をされる時期は。</p> <p>災害発生等の緊急時における高齢者世帯等への避難誘導體制の確立に向けて、自治会や区の協力により、避難誘導に係る組織づくりをするべきと考える。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|---|--|---|---|--|
| | | <p>5 府道亀岡園部線（千歳北工区）の街路灯について</p> <p>6 市道池尻宇津根線の道路整備について</p> | <p>(1) 既にどのくらいの組織ができているのか。 (2) 今後、避難誘導組織が増える予定は。 (3) 啓発等により、避難誘導組織を増やしていく計画はあるのか。</p> <p>府道亀岡園部線（千歳北工区）における街路灯については、工事が完了している。 (1) 街路灯の点灯開始を早期に願うが、いつ頃の予定か。</p> <p>現在、市道池尻宇津根線の開通に向けて、整備工事が進んでいる。 (1) 工事の進捗状況と開通予定時期は。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 7 | <p>木村 勲 12月7日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 放課後児童会の拡大・充実について</p> <p>2 大井町南部土地区画整理事業地の環境整備について</p> <p>3 市内歩道のインターロッキングブロックによる舗装箇所</p> | <p>今年8月22日に子どもファースト宣言をし、今議会で「放課後児童会」から「かめおか児童クラブ」に名称を改め、新たに条例を制定することにより、放課後児童健全育成事業を積極的に展開されようとしている。今回の変更について問う。 (1) 現行の授業終了後18時からの延長時間中、長期休暇期間、第2土曜日の保育児童数は。 (2) 現行の市内放課後児童会の数と個々の児童数は。 (3) 現行の支援員数は。また、支援補助員の役割と人数は。 (4) 新たな条例案について保育を希望する人数のアンケートをされたと聞かすが、平日、土・日・祝日の結果は。 (5) アンケートによる支援員、支援補助員の増員数は。 (6) 夕方・土・日・祝日について民間委託する考えは。 (7) 支援員・支援補助員の増員と、1家庭2人目以降の負担金無料化も含めての予算増額は。</p> <p>大井町南部土地区画整理事業は、11月23日の総会で事業・収支決算が承認、組合は解散され清算人へと引き継がれたが、周辺地域の環境整備について問う。 (1) カインズ北東側の国道9号交差点に、右折青矢印信号の設置は。 (2) カインズ西側住宅街に開通した道路への横断歩道設置は。 (3) エディオン東側住宅地内への街路灯設置は。 (4) 犬飼川左岸堤防北側道路の整備状況は。</p> <p>市内各地の歩道にインターロッキングブロックによる舗装がされている。経年の雨の浸透による陥没や街路樹の成長による隆起が目立つが、対策について問う。</p> | <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|---|--|---|---|--------------------|
| | | <p>修理と街路樹について</p> <p>4 消防団活動の出動報酬の範囲拡大、装備の充実、公務災害補償について</p> | <p>(1)市内インターロッキングブロックによる舗装の危険箇所の点検状況は。</p> <p>(2)改修工事の毎年の予算は。</p> <p>(3)成長しても歩道に影響を与えない街路樹を選定してはどうか。</p> <p>消防団員には、消火活動・各種訓練等に日夜奮闘いただいている。出動報酬範囲の見直し、iPad導入及び公務災害補償について問う。</p> <p>(1)各種出動報酬は。</p> <p>(2) iPadの導入計画は。</p> <p>(3)公務災害補償は充実しているのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| 8 | <p>田中 豊 12月7日(水) 13:00~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市長の政治姿勢について</p> | <p>日本共産党亀岡市議会議員団は、去る11月11日、市長に緊急対策として12項目、重点要求項目として10項目の2023年度亀岡市予算に対する重点要求書を提出した。次の4点について市長の所見を求める。</p> <p>(1)重点要求書の「はじめに」で「約3年近くにも及ぶ新型コロナウイルス感染拡大、異次元の金融緩和、異常な物価高、円安のもと、市民のいのちと暮らしはかつてなく深刻な事態となっている。そして生業と地域経済にこれまでにない影響を及ぼしている。」としているが、市長は市民の生業と亀岡の地域経済への影響をどのように把握しているのか。</p> <p>(2)「新型コロナウイルスの感染拡大のもとで、防疫・医療体制の再構築と併せて、二次被害ともいえる地域経済・生活への深刻な影響に対するきめ細かな施策を積極的に進めなければならない。それだけに今、従来の延長線上や国・府の枠組みにとどまらず『市民のために必要なことは徹底してやり抜く』本市の姿勢と役割が求められている。」に対する所見は。</p> <p>(3)「こうした状況下だからこそ、『住民福祉の向上』を果たすべき自治体本来の役割を發揮することこそが求められている。本市においても、地域内再投資の循環型産業経済政策を進めること、社会保障をはじめとした暮らし支援・底上げ策の強化により地域で住み続けられる条件を整え雇用を生み出すこと、大型開発より災害からいのちと財産を守ること、住民自治を尊重し地域のコミュニティを支え支援するなどの施策が強く求められている」に対する所見は。</p> <p>(4)重点要求項目の「(2)ジェンダー平等社会の実現を」について問う。</p> <p>①「ジェンダー平等社会の実現に向けた本格的な取組を行うこと。性的マイノリティの人権保障のため、各種申請用紙等の改善、相談窓口の設置、パートナーシップ条例の実現などに取り組むこと。またセクシュアルハラスメ</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|--|--|--|--|--------------------|
| | | <p>ント、パワーハラスメント、マタニティハラスメントなどが人権侵害であることを周知徹底、根絶に向けた取組を強めること。」に対する所見は。</p> <p>②「性別賃金格差を縮小するため、取組を強化すること。企業に男女別平均賃金の公表、格差是正計画の策定・公表を求めるとともに、男女賃金格差の実態を把握、分析し、市として是正の行動計画を策定すること。」に対する所見は。</p> <p>③「ジェンダー平等を基本に、政策方針の決定過程への女性の参画の促進、各種審議会への女性委員の登用を積極的に進めること。また、委員の人選に当たっては、公募を含め公正・公平を期すこと。」に対する所見は。</p> <p>④「男女を問わず、労働者が家族的責任を果たせるよう、看護休暇や育児介護休業制度を拡充すること。」に対する所見は。</p> <p>⑤「セクシュアルハラスメントを防止するため、禁止規定と適切な制裁措置を盛り込んだ条例整備を行うこと。」に対する所見は。</p> <p>⑥「痴漢、性暴力、DV等の根絶に向けた啓発活動を重視し、被害者への相談や支援の体制を強化すること。」に対する所見は。</p> <p>⑦「LGBTQ+など性的マイノリティの人権保障のため、パートナーシップ宣誓制度に基づく具体的な市民サービスの改善などに取り組むこと。」に対する所見は。</p> <p>⑧「全ての市民が対象となるSOGIE（性的指向、性自認、性表現の頭文字を並べた総称）に関する理解を広めること。」に対する所見は。</p> <p>⑨「選択的夫婦別姓制度の実施を国に働きかけること。」に対する所見は。</p> | <p>ファミリーシップ制度とは、パートナーシップ宣誓をした2者のほかに家族として暮らしている未成年の子どもがいる場合で、子どもを含む家族の関係を届け出た場合は、それを証明するものである。</p> <p>(1) パートナーシップ宣誓制度に加えて、ファミリーシップ制度を創設してはどうか。</p> | <p>市長 所管部長</p> |
| | <p>2 ファミリーシップ制度について</p> <p>3 マイナンバーカードの事実上の義務化について</p> | <p>「経済財政運営と改革の基本（骨太方針）2022」は、2023年4月から「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」、2024年度中には「保険者による保険証発行の選択制」を導入し、マイナ保険証に切り替える誘導を行い、これらを踏まえて「保険証の原則廃止」を目指している。また、河野太郎デジタル大臣が、健康保険証を2024年秋に原則廃止し、マイナンバーカードを事実上義務化すると表明した。</p> | <p>市長 所管部長</p> | |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | <p>(1) 保険証が原則廃止となれば、マイナンバーカードを持たない者は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず「保険証廃止」は事実上、マイナンバーカードの取得義務化に限りなく近いものとなるがどうか。</p> <p>(2) 事実上のマイナンバーカード取得義務化により、マイナンバー制度とマイナンバーカードで管理している個人情報の民間事業者による利活用が広がることによって、個人情報が悪用されるのではないか。</p> <p>(3) 「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」は、システム導入に伴う多額の経費や維持費の発生等、医療現場に大変な負荷をかけることが懸念されるがどうか。</p> <p>(4) 日本弁護士連合会は、去る9月27日「マイナ保険証」取得の事実上の強制に反対する会長声明を出した。</p> <p>①当連合会は、2021年5月7日、「個人番号カード（マイナンバーカード）普及策の抜本的な見直しを求める意見書」を公表した。そこでは、「特に、個人番号カードの裏面に記載されている個人番号は、悉皆性、唯一無二性を持ち、原則生涯不変の個人識別情報である」から、同番号が「不正利用されれば、個人データが名寄せされデータマッチング（プロファイリング）されてしまう危険がある」ことを指摘し、現在の仕様の「個人番号カードは、住基カード等に比べて、プライバシー保護の観点著しく後退していると言わざるを得ない」と述べているが所見は。</p> <p>②「個人番号制度は、あらゆる個人情報の国家による一元管理を可能とする制度となり、監視社会化をもたらすおそれ」があることも指摘した。同カードの取得は、本人が利便性と危険性を利益衡量して決めるという番号法（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律）第17条第1項の申請主義（任意取得の原則）の趣旨に鑑みて、①同カードに健康保険証機能など、一体化する必要性の低い他制度機能を組み込んだり、②同カードの取得者に高率のポイントを付与するという制度目的と関係のない利益誘導を行ったりすることなどの普及策は、「全国民が現行の個人番号カードを使用せざるを得ない状況に追い込むものであり、任意取得の原則に反するものである」に対する所見は。</p> <p>③「診療報酬の見直しや高額のポイント付与は、同カードを取得しない者に不合理な経済的不利益を与えるなどして、マイナ保険証に誘導し、その原則化を図るものと言える。その先には、従来型保険証の原則廃止が想定さ</p> | |
|--|--|--|--|--|

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| | | | <p>れているのであり、「国民皆保険制度」を採用する我が国では、全国民に対してマイナンバーカードの取得を強制するのに等しいのであって、番号法の申請主義（任意取得の原則）に反し、マイナンバーカードの取得を事実上強制しようとするものにほかならない。」に対する所見は。</p> <p>④マイナンバーカードの取得はあくまで任意であり、マイナンバーカード取得の強制につながる「健康保険証の原則廃止」方針の撤回を国に求めるべきと考えるがどうか。</p> | |
| 9 | <p>山本由美子 12月7日(水) 13:45～</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）接種について</p> <p>2 加齢性難聴者への支援について</p> <p>3 投票しやすい環境整備について</p> | <p>子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについては、本年4月より定期接種対象者への積極的勧奨が約9年ぶりに再開された。また、厚生労働省は来年4月1日から9価HPVワクチンを定期接種とする方針を決めた。</p> <p>(1) 積極的勧奨再開に当たり、定期接種対象者及びキャッチアップ対象者への周知はどのようにされたのか。</p> <p>(2) 今年度の接種率及び前年度の接種率は。</p> <p>(3) 積極的勧奨再開後の市民の反響は。</p> <p>(4) 9価HPVワクチンについて、現在、定期接種として使用できる2価や4価のHPVワクチンとの違い、効果や安全性についての認識は。</p> <p>(5) 9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応、対象者への周知方法についての考えは。</p> <p>高齢者が耳の健康を保ち、自分らしく社会参加を続けられるよう、難聴の早期発見や自分に合った補聴器を使用する体制整備が必要である。</p> <p>(1) 難聴を早期発見する仕組みについて考えは。(地域の通いの場などでの耳の聞こえのセルフチェックや介護予防のための基本チェックリストに聴力に関する質問を追記するなど)</p> <p>(2) 難聴が疑われた場合に、医療機関への受診勧奨ができるよう耳鼻咽喉科医(医師会)との連携の仕組みを構築することが必要と考えるが見解は。</p> <p>(3) 適切な補聴器利用のために、補聴器相談医や認定補聴器技能者の周知を図ることが重要であると考えが見解は。</p> <p>(4) 補聴器購入に対する公的助成制度導入の考えは。</p> <p>不在者投票のうち、住民票を地元に残したまま進学や就職、単身赴任などで別の地域に滞在している方が滞在先で投票する場合に、投票用紙の請求をマイナンバーカードを使ってオンライン申請することができ、総務省からも積極的な実施が</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長 選挙管理委員会 委員長</p> |

| | | | | |
|----|--|------------------------|--|------------|
| | | 4 ボランティアポイント制度について | <p>求められている。</p> <p>(1)本市における不在者投票の方法及び利用状況は。(令和3年衆院選、令和4年京都府知事選、令和4年参院選での利用件数)</p> <p>(2)マイナポータルを活用した不在者投票用紙のオンライン請求の導入について考えは。障がい者の方などがスムーズに投票できるよう、取組が必要であると考え。</p> <p>(3)投票に際し、必要な支援を事前に記入できる「選挙支援カード」を導入する考えは。</p> <p>高齢化が進む中で、ボランティアポイント制度導入自治体では、高齢者の方の社会参加につながり、健康増進や介護予防、生きがいづくり、地域住民の相互の交流などに対しても効果が得られていると評価している。令和3年12月議会的一般質問の答弁において、本市においても導入に向け、令和5年度にはモデル事業を実施し、第9期亀岡市介護保険事業計画から本格導入を目指したいとの考えを示された。</p> <p>(1)令和5年度モデル事業実施に向けて、制度設計の検討やボランティア受入団体との調整、ボランティアポイント付与システムの構築などの進捗状況は。</p> | 市長 所管部長 |
| 10 | 小川 克己 12月7日(水) 14:45~ ※一括 | 1 JR千代川駅を核としたまちづくりについて | <p>千代川町では、土地区画整理事業等で人口増となり、児童が増加傾向にあり、千代川小学校の校舎の増築や通学路の安全対策を鋭意進められている。また、JR千代川駅ではスロープ整備が完成し、駅の東西を結ぶ自由通路の完成に向けた調査設計が行われている。亀岡の北の玄関口であるJR千代川駅を核としたまちづくりについて問う。</p> <p>(1)亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)における、国・府・市の連携による中長期的な今後の取組は。</p> <p>(2)多くの児童が登下校する国道9号千代川駅前交差点の地下道西側は、歩道部分が狭小であるが所見は。</p> <p>(3)川の駅・亀岡水辺公園について、指定管理者や京都府との協議・連携はできているのか。また、今後の活用をどのように考えているのか。</p> <p>(4)JR嵯峨野線の京都・園部間では、昼間の時間帯の便が減便されたため不便に思うが、せめて以前の便数に戻してもらおうように、JR西日本に対して、市として、また2市1町で要望してもらいたい所見は。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 2 環境政策について | <p>亀岡市は世界に誇れる環境先進都市として注目されており、積極的に各種取組を進められているが、今後の取組について問う。</p> <p>(1)環境先進都市として、これまで発信してき</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|--|--|--|--|---------------------------------------|
| | | <p>3 空き家対策について</p> <p>4 文化と芸術が根づくまちづくりについて</p> | <p>た成果と実績は。</p> <p>(2) リユース品回収・交換会が市役所等で行われ、11月27日(日)には、地元千代川町自治会館で開催された。もったいない精神を育み、「もらう・譲る」の地域コミュニティの推進や使い捨ての防止、ごみの減量につながる良い試みの催しと考えるが、どのような事業効果と成果があったのか。また、今後各町へ広げていく考えは。</p> <p>(3) ごみの減量、リサイクルにつながる来年度の取組予定は。</p> <p>(4) エコウォーカーの登録状況と年代別の登録人数は。また、今後も趣旨を理解した上でより多くの方に登録してもらえるように、啓発活動を行う必要があると考えるが所見は。</p> <p>(5) エコウォーカーの活動時に、ごみを拾いながら歩道の草引きができればと思うが所見は。</p> <p>適切に管理されていない空き家が増えると地域における景観の悪化や防犯機能の低下、ごみなどの不法投棄や火災の誘発、庭木が伸びることによって、道路の安全確保の妨げになることがある。</p> <p>(1) 本市における空き家の状況と今後の空き家対策は。</p> <p>亀岡市は、それぞれ地域に根づいた歴史や文化があり、貴重な資料の一部は文化資料館にも保存され、それぞれの地域では、陶芸や書・絵・音楽等のサークル活動をされているとともに、芸術家が創作の拠点として、亀岡市に住まわれている。自然と文化芸術が根づき調和するまち、誇れるまちとしての取組、歴史と伝統を生かし、先人の知恵が香る文化のまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 文化施設の今後について、市民の意見を聞き、市民アンケートや懇話会を設けて取り組んでいるが、どのような意見が出ていたのか。また、今後どのようなスケジュールで検討を行っていくのか。</p> <p>(2) ガレリアかめおかについては、利用状況を鑑み、駐車場の拡充が必要と考えるが所見は。また、今後の長寿命化の取組や舞台発表、学生が学べる場所の拡充の考えはあるのか。</p> <p>(3) かめおか霧の芸術祭は、実行委員会により実施されているが、本来の目的と市民にどのくらい浸透したのか。また、今年度の成果は。</p> <p>(4) ふるさと納税の返礼品を活用し、亀岡ゆかりの芸術家と作品をPRしてはどうか。また、実行委員会に携わっている人材を活用し、市内外においてかめおか霧の芸術祭をもっと発信してはどうか。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
|--|--|--|--|---------------------------------------|

| | | | | |
|----|---|--|--|---------------------------------------|
| 11 | <p>竹田 幸生 12月7日(水) 15:30~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 福祉の心について</p> | <p>市長は、就任以来、様々な分野で積極的な市政運営をされており、その中で「子育て分野」「高齢者分野」「障がい者分野」の主な取組について問う。</p> <p>(1) 子育てについてどのような政策を行ったか。</p> <p>(2) 高齢者に対してどのような政策を行ったか。</p> <p>(3) 障がい者に対してどのような政策を行ったか。</p> <p>「福祉の心」の意味は曖昧かつ広範囲で、様々なことが考えられるが、市役所を多様な市民が利用しやすいことが重要である。小さな子ども連れの方、障がいのある方、高齢の方に優しい基準の制度にすれば「良し」とするのではなく、よりよい庁舎の整備に今以上の福祉の心が望まれる。</p> <p>(1) 市民窓口、福祉窓口及びその周辺でどのような福祉の心が見られるか。</p> <p>(2) 障がい者専用駐車場、京都おもいやり駐車場はどのような状況か。</p> <p>(3) 地下1階レストラン改修に際して、施工前と施工後に健康福祉部から意見はあったのか。</p> | <p>市長</p> <p>所管部長</p> |
| 12 | <p>三上 泉 12月8日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 国際勝共連合亀岡支部（＝旧統一教会）との関係について</p> <p>2 住みよさランキングについて</p> | <p>令和4年9月議会で紹介した2代目亀岡市長平田一義氏の著書によると、1981年に設立された国際勝共連合亀岡支部(以下、亀岡支部と略)は、設立当時の役員として、諮問委員長に初代市長大槻嘉男氏、支部長に平田一義氏、顧問に当時現職市長の谷口義久氏が就任し、1988年の著書刊行時までこの体制は変わっていない。</p> <p>(1) 亀岡支部と市長をはじめとする亀岡市との関係はいつまで続いていたのか。</p> <p>(2) 亀岡支部の存在、あるいは京都府本部の存在について、市はどのように把握・認識しているのか。</p> <p>(3) 改めて、旧統一協会と政治の関係についての所見は。</p> <p>1993年から東洋経済新報社によって毎年公表されている「住みよさランキング」は、住みよさを表す各種指標について偏差値を算出して、それらの平均値を総合評価として順位づけしている。全国の792市と、都心3区と呼ばれる千代田区・中央区・港区を除いた東京特別区20区の合計812市区を対象に、安心度・利便度・快適度・富裕度の4つの視点から20項目のデータを用いて、ランキングを算出している。住みよさランキング2022によると、亀岡市は、全国812市中668位、京都府内15市中では15位と最下位に順位づけられている。なお、今年からは「住みよさランキング」【子育て編】も発表さ</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|--|--|-----------------------------------|---|----------------------------|
| | | <p>3 中学校給食の実施について</p> | <p>れている。</p> <p>(1) ランキング結果についての所見は。</p> <p>(2) 住みよさランキング子育て編の結果を把握しているか。</p> <p>(3) 亀岡市の「住みよさ」を向上させるために何が必要だと考えるか。</p> <p>亀岡市は、子どもファーストを宣言し、中学校給食についても実施することを表明した。</p> <p>(1) 令和10年度実施を目指すとされているが、どのような手法、施設設備での実施を考えているのか。</p> <p>(2) 安全・安心、リスク回避、地元農家等の活躍、雇用の創出、食育推進のどれをとっても、自校方式あるいは小規模調理場方式が優れているので、多少経費がかかっても自校方式あるいは小規模調理場方式を選択する自治体が増えている。本市でも、その方向で計画を立てるべきと考えるが、そのような考えはあるのか。</p> <p>(3) 育親学園にも調理場を組み込んだ設計計画を行ってはどうか。</p> <p>(4) 先行事例として、亀岡川東学園、育親学園をモデル校として中学校給食を実施する考えは。</p> <p>(5) 給食無償化に踏み出した自治体が増えているが、亀岡市でもそのような展望を持つべきであり、まずは国に対して給食に係る経費の支援を要望してはどうか。</p> <p>(6) 市民、保護者、生産者、現場の教員(栄養教員)などに広く開かれた検討委員会を早急に設置して、市民に開かれた中学校給食の議論の場を設定する考えはあるか。</p> | <p>市長 教育長 所管部長</p> |
| | | <p>4 特別なニーズを要する子どもへの教育的配慮について</p> | <p>子どもファースト宣言で、保育料第2子以降全て無料化、保育園・幼稚園・こども園でおむつの提供、処理の無料化などを掲げている。保護者・子育て世代には大きな支援となるが、保育の中で最も重要な環境は保育士そのものであり、保育士不足や過酷な勤務は保育の質に影響を及ぼす。また、学校においても同様に、特別支援教育を十分に行うための人員が教育環境として重要である。</p> <p>(1) 聞き取ったところによると、今年度当初の就学前巡回相談の際、保健師は訪問したが、心理士が訪問できず、気になる子どもの具体的事例に対する手だてなどのアドバイスが十分にされなかった。亀岡市は心理士が不足していて、補充が十分になされていないとのことだったようである。現在、心理士など、特別なニーズを要する子どもへの手だてなどをアドバイスするために必要な人員配置はされているのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た場合、保</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|---|---|---|---------------------------------------|
| | | <p>育士の多くが濃厚接触者となり、検査を行う必要がある。当初支給されていた検査キットがなくなってきた場合、市は、追加の支給を不足なく行っているのか。</p> <p>(3) 発達検査は、資格のある者しか行えず、検査した者が責任を持ってその結果を保護者に説明するのが当然だが、小・中・義務教育学校の実情は、校内の特別支援教育コーディネーターの先生が、検査結果報告書のレクチャーを受けて代わりに説明することも多く、それだけでも業務過多になっていると聞か、実態と改善策は。</p> | | |
| | <p>5 南つつじヶ丘、東つつじヶ丘曙台4丁目の街路樹対策について</p> | <p>平成30年9月議会で、市長に、南つつじヶ丘等の街路樹(タイワンフウ)に係る課題と対処について質問し、市長は、「全てを植えかえるのは難しい。今後は、その間隔を間引いて、剪定して管理し、全体的な本数を減らしていくのは可能」との旨、答弁された。</p> <p>(1) 前回の質問以降、どのような対策を講じてきたか。</p> <p>(2) 歩道の凹凸など安全面での改良は早急に行うべきだと考えるが所見は。</p> <p>(3) 都市計画、新たな宅地開発と街路樹の関係についての今後の課題や見通しをどのように認識しているのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> | |
| 13 | <p>奥野 正三 12月8日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 ごみ収集について</p> <p>2 災害時の安全・安心について</p> | <p>住民の高齢化や共働き世帯が増加する中で、ごみ出しが困難な高齢者を支援する制度として、ごみの個別収集等の施策が必要である。</p> <p>(1) ごみステーションの設置基準は。</p> <p>(2) 設置基準を緩和することはできないのか。</p> <p>(3) 今後、ごみ出しが困難な高齢者への支援として、個別収集方式を導入する考えは。</p> <p>災害時には、市民が安全に安心して避難できる体制が求められており、救援物資の確保、避難所の受入体制等、避難環境の整備について問う。</p> <p>(1) 救援物資とは、どのようなもので、何日分備蓄されているのか。</p> <p>(2) 救援物資は集中管理ではなく、分散管理してはどうか。</p> <p>(3) 令和4年6月議会で、指定避難所の耐震化は58か所中48か所で行われているとのことであったが、残り10か所の耐震化についての考えは。</p> <p>(4) 避難経路は明確に示されているのか。</p> <p>(5) 高齢者や障がい者等の避難対応・支援はどのように行うのか。</p> <p>(6) 避難所に滞在できない方にも、物資の配布や医療サービスの提供が必要であると考えがどうか。</p> <p>(7) 車中泊の避難者に対する物資の支援方法</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|---|---|---|--|
| | | <p>3 移住・定住の促進について</p> <p>4 道路整備について</p> | <p>は。</p> <p>移住・定住の促進について問う。 (1) 近年は、転入者数が転出者数を上回っていると聞かすが、その推移は。 (2) 今後の移住・定住の促進に向けた新たな取組はあるか。</p> <p>令和4年6月議会で要望した、東本梅町大内地区内の道路整備について問う。 (1) 市道大内線の中で、緊急性の高い区間については、全面補修に取り組むとの回答があったが、その後の状況は。 (2) 路面とマンホールや下水道管との段差の補修工事はいつ行うのか。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 14 | <p>松山 雅行 12月8日(木) 13:00～</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 千々川橋の架け替えについて</p> <p>2 ふるさとバスの利便性向上について</p> <p>3 ヤングケアラー支援について</p> <p>4 財政運営について</p> | <p>今年9月15日に若宮橋が供用開始された。次は、千々川橋の架け替え事業であると地元から期待の声が高まっている中、豪雨があり橋のたもとが侵食すればとの不安の声も非常に大きくなっている。今後の千々川橋架け替えについて問う。 (1) 国や府への要望の進捗は。 (2) 迂回路決定を含めた調査の実施は。</p> <p>市民が交通難民にならないよう、運転免許証返納者もそうでない方も、時代に合ったふるさとバスの持続可能な交通インフラを行政として見直すべきであるが、国・府補助の在り方で難しい点もあるとの答弁が今年9月議会の一般質問であった。しかし、どの路線に乗ってもバス一本で市役所、ガレリアかめおか、亀岡運動公園等に行き帰れる仕組みを考えていく必要がある。 (1) ふるさとバス等の交通インフラ整備は、都心と違い、今後の市民生活を支える上で重要な義務であると考えているがどうか。</p> <p>令和4年9月議会の一般質問の答弁で、ヤングケアラーの実態調査実施について言及された。今後、実態把握を進めていく中で、ヤングケアラーであると自覚がない方や家族が支援を求めない方など、幅広いケースが想定されるため、間口を広げた実態把握と庁内、関係機関との連携が重要である。教育分野における実態把握の在り方について問う。 (1) 教育分野における実態調査対象者の把握は。 (2) 従来の教育の枠を超えた視点での気づき、発見、把握が大切であると考えているが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに期待する役割は。</p> <p>今後、多くの公共施設の更新をしなければならない本市であるが、基金を活用した財政運営につ</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|--|----------------|--|------------|
| | | 5 民間宅地開発について | <p>いて問う。</p> <p>(1) 公益施設整備基金の現在額は。</p> <p>(2) 本基金の運用手法は。</p> <p>(3) 今後の施設更新のために条例を改正し、積み立てていくべきであるとするが所見は。</p> <p>バブル景気の頃に、何らかの事由で開発が中断した団地で、市民が暮らしているエリアがあり、私道のままの道路がある。住民が安全・安心に暮らすための中長期的な環境整備について問う。</p> <p>(1) 該当するエリアは、何箇所あるか。</p> <p>(2) 今後、市として現状の実態把握をするべきであるとするがどうか。</p> | 市長 所管部長 |
| 15 | 並河 愛子 12月8日(木) 13:45~ ※一問一答 | 1 福祉行政について | <p>長引くコロナ禍で市民生活に大きな負担が生じている。市民生活の安定のためにも暮らしへの支援が必要である。</p> <p>(1) 暮らしの資金貸付の通年化と貸付金を現在の5万円から10万円に戻すべきではないか。</p> <p>(2) 緊急通報装置の利用は、現在月額1,000円となっているが、条件を緩和して非課税世帯や80歳以上の希望者などに対しては、無料に戻すべきではないか。</p> <p>(3) 過去には安心長寿の福祉助成金として、上下水道料金の基本料金に対して支援されていたが、物価高で大変な今こそ復活して、恒常的に低所得者や高齢者へ支援すべきと考えるがどうか。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 2 国民健康保険事業について | <p>共産党議員団が取り組んだアンケートでは、「国民健康保険料が高い」「引き下げてほしい」との市民要望が寄せられている。令和2年度は962世帯、令和3年度は914世帯が滞納世帯となっている。</p> <p>(1) 家計が大変な今こそ、国保料の引下げが求められる。1世帯1万円の引下げをすべきではないか。</p> <p>(2) 就学前の子どもの均等割分が半額補助になっているが、残りを市の支援で無料にすべきではないか。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 3 地域経済の活性化について | <p>コロナ禍における支援策として、今年9月1日から10月31日までの2カ月間、4回目となるかめおか応援クーポン事業が実施された。今議会でも5回目の事業が提案され、実施予定である。</p> <p>(1) 過去4回の利用状況は。</p> <p>(2) 過去4回の経済効果は。</p> <p>(3) 自治会未加入者や一人暮らしの高齢者等への広報は十分であったのか。最も支援の必要な人が制度を知らずに利用されていない実態があるが、全世帯に行き渡るようにすべきではないか。</p> | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|----|---|---|---|---|
| | | 4 就学援助制度について | <p>就学援助制度は、「義務教育は無償」として憲法第26条など関係法に基づいて、経済的理由で困っている小・中学生のいる家庭に、学用品費や入学準備金、給食費、医療費などを補助する制度である。入学時、学校からの説明で助かっていると喜ばれている。</p> <p>(1) コロナ禍において、年度途中から生活が大変になっている家庭もあるのではないかと危惧される。年度途中でも困難な家庭への就学援助制度の広報や支援をしているのか。</p> <p>(2) 2010年(平成22年)度から、国が補助を出す項目として、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が対象になっている。本市においては対象外とされているが、子どもの貧困が大きな問題になっている現在、本市としても支援すべきではないか。</p> | 市長 所管部長 |
| | | 5 文化施設の建設について | <p>文化施設として多くの市民が利用されていた亀岡会館がなくなって久しい。一日も早い文化施設の建設が望まれる。</p> <p>(1) 亀岡市は、「文化の薫るまち」とされているが、コンサートや音楽活動ができる施設がない現状で、今後の計画は。</p> <p>(2) 文化資料館の老朽化が著しいが、今後の方向性は。</p> | 市長 教育長 所管部長 |
| 16 | <p>平本 英久 12月8日(木) 14:45~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 児童生徒のための学校教育の環境整備について</p> <p>2 環境美化政策の新たな取組について</p> <p>3 篠町篠企業</p> | <p>これまでも児童生徒の学習環境の整備などに積極的に取り組んできたが、子どもファースト宣言を行った本市としてさらなる環境整備について問う。</p> <p>(1) 学校司書の配置及び拡充が行われたが、これまでの経過や成果は。</p> <p>(2) 学校図書に新聞を配備するように国の指針が示されているが、本市として導入する考えはあるのか。</p> <p>(3) 児童生徒が安心して通学できる環境、通学路の安全確保について、どう考えているのか。</p> <p>環境先進都市を目指す本市として、ポイ捨ての防止対策やごみの再資源化に積極的に取り組んできたが、今後の環境施策の展開について問う。</p> <p>(1) JR馬堀駅前の喫煙ブース整備に向けての進捗状況は。</p> <p>(2) 以前の一般質問でごみ出し支援を利用したい方の声を紹介したが、事業実施に向けての進捗状況は。</p> <p>(3) 先般、不燃ごみからの発火によるごみ収集車の車両火災があったことから、ごみ分別についてさらに市民周知が重要だと考えるが、具体的にどのように周知を行うのか。</p> <p>篠町内で進められている工業系土地区画整理</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p> |

| | | | | |
|----|---|--|--|---|
| | | <p>団地土地区画整理事業について</p> <p>4 有害鳥獣による農産物への被害対策について</p> <p>5 災害に備えたまちづくりについて</p> | <p>事業では施設建設も進められているが、企業誘致の現状や今後のまちづくりに対する本市の考え方について問う。</p> <p>(1)土地区画整理事業地内における誘致企業の現状は。</p> <p>(2)土地区画整理事業地内の防球ネットを完備した公園の供用開始はいつか。</p> <p>(3)工業系企業が稼働すると大型車両の通行量も増加すると考えるが、交通安全対策や道路整備についての考えは。</p> <p>(4)土地区画整理事業地の周辺を流れる牧田川の河川改修や整備についての考え方は。</p> <p>これまでも京野菜の産地として有害鳥獣による農産物への被害対策を求めてきたが、現状と対策について問う。</p> <p>(1)現在の有害鳥獣による農産物への被害状況は。</p> <p>(2)これまでドローンによる有害鳥獣の追い払いを提案してきたが、取組の成果は。</p> <p>(3)依然として農産物への被害は続いているが、今後の有害鳥獣対策は。</p> <p>これまでも風水害等の自然災害に備えた体制整備に取り組んできた本市であるが、防災に対する本市の考え方について問う。</p> <p>(1)これまでも火災やあらゆる災害に備えて常備消防を補完いただいていた消防団の現状は。</p> <p>(2)消防団員確保についての支援体制は。</p> <p>(3)亀岡運動公園の災害時における役割についてどう考えているのか。</p> | <p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 17 | <p>三宅 一宏 12月8日(木) 15:30~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 eスポーツについて</p> | <p>eスポーツについて問う。</p> <p>(1)京都スタジアムの施設VR・eスポーツエリア「SKY-FIELD」はどのようなものか。</p> <p>(2)令和3年3月28日、こけら落としイベントが、西脇京都府知事、桂川亀岡市長、京都府議会議員、亀岡商工会議所会頭等多くの参列の中開催されたが、どのような内容であったのか。</p> <p>(3)京都府はスタジアム内に、eスポーツ施設を立ち上げ、市民に安い料金で提供するだけでなく、eスポーツ大会会場としても積極的に活用し、「eスポーツスタジアム」として運用していく構想を明らかにしている。亀岡市としては、どう関わっていくのか。</p> <p>(4)若者に高い関心を集めるeスポーツを、地方創生や地域活性化、子どもたちが魅力を感じるまちづくりに積極的に活用する考えは。</p> <p>(5)国民体育大会「文化プログラム」として「全国都道府県対抗eスポーツ選手権」が開催さ</p> | <p>市長 所管部長</p> |

| | | | | |
|----|---|---|---|---------------------------------------|
| | | <p>2 空き家、空き店舗対策について</p> <p>3 たばこのポイ捨て対策について</p> | <p>れている。小・中学校・高校・大学において、部活となる可能性についてどう考えるか。</p> <p>(6) オリンピックの競技種目として採用される可能性が高いと予想されているが、亀岡市をeスポーツのメッカにする考えは。</p> <p>国土交通省が開催した「まちづくりアワード」で、群馬県前橋市の「マチスタント」が、遊休不動産と民間事業者を引き合わせる取組として特別賞に選ばれている。</p> <p>(1) 亀岡市において、このような取組を行う考えは。</p> <p>東京都渋谷区の株式会社コソドが、たばこのポイ捨てをなくす社会の実現を目指して、「ポイ捨て凶鑑プロジェクト」を2021年12月より展開している。ポイ捨ての効果的な削減を目指し、実証実験をされており、46%の削減ができているとの結果が出ている。</p> <p>(1) 亀岡市においても、このような対策をする考えは。</p> | <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
| 18 | <p>西口 純生 12月9日(金) 10:00~</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 環境問題に</p> | <p>第17期議員は、任期最終年度を迎えている。市政運営の基盤である財政状況の4年前との比較とその推移、また、財政活性化と変革のうねりについて問う。</p> <p>(1) 4年間の経常収支の状況を比較し、反省点や変革の現れをどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 今後の経常収支の動向を鑑み、どのような財政計画を考えているのか。</p> <p>(3) 亀岡駅北土地区画整理事業の完了、サンガスタジアムの完成、JR亀岡駅北のホテル建設、府道郷ノ口余部線の京都縦貫自動車道接続計画によって生まれる、この地域の輝石をきっかけとした変革のうねりをどのように生かすのか。</p> <p>子育て支援日本一のまち亀岡をつくるため、さらなる子育て支援施策の拡充が必要とされる中、子どもファースト宣言を行った市長の変革と決断に敬意を表したい。</p> <p>(4) 宣言の中で、2人目以降の保育料無料化は確認できたが、最大限の子育て支援を行うのであれば、全ての子どもの保育料を無料化すべきである。財源とのバランスはあるが、子育て支援日本一にするためには、必須条件になると考えるが所見は。</p> <p>(5) 職員が、孫の保育を行うために必要となる育児休暇を認めるべきであると考えがどうか。</p> <p>(6) 国の「こども家庭庁」の創設に対応する準備はできているのか。</p> <p>アユモドキの保全については、効率的な仔魚増</p> | <p>市長</p> <p>市長</p> |

| | | | |
|--|----------------|--|------------|
| | について | 殖のため、攻めの保全活動に予算を使うべきである。 (1) 攻めの保全とは、人工池等を利用して、自然産卵させ、いつでも川に戻せる仔魚を生産することである。それ以外の費用は国が負担すべきであり、市民の税金は、安心して放流できる生きた活動に使うべきであると考えるが所見は。 (2) DNAが変化したアユモドキも放流できるようになり、増殖は順調に進んでいる。産卵しやすい環境をさらに拡大するため、産卵時期は地域の支流に堰を増設し、産卵場所を拡大してはどうか。 | 所管部長 |
| | 3 防災・減災について | 桂川の改修整備が進められる中で、霞堤の嵩上げ等が叶えられた。今後の防災整備計画の推進について問う。 (1) 保津橋上流の霞堤嵩上げ問題で、曾我谷川を飛ばし、その上流から整備するとの情報がある。基本的な河川整備の視点から言えば問題がある。なぜ災害時に下流へ負担がかかるような手法で整備を行うのか。 (2) 後回しにされた支川は、災害時に浸水被害が大きく、補償問題に発展するおそれがあるが、京都府はどのように考えているのか。 (3) 保津町自治会が取り組んできた谷山池水位監視システムは、現在運用できない状況であるが、その後、亀岡市はどのような対応を行っているのか。 | 市長 所管部長 |
| | 4 各町の地域課題について | 各町の地域課題について問う。 (1) 河原林町自治会前の水路は、増水時に溢水し、前のグラウンドが常時浸水するような状況である。地元はカルバート方式で下流へ水を流すよう要望しているが整備できないのか。 (2) 市道保津外環状線整備の動きが見えないが、今年度の事業の進捗状況と次年度以降の事業計画は。 (3) 地元は、丹波国分寺の入り口周辺をにぎわい創出に活用したいという意向が強い。現状では、文化財の所在地としての役割も果たされていないが、今後のにぎわい創出の計画は。 | 市長 所管部長 |
| | 5 高齢者福祉の充実について | 高齢者の診療・診察、買物を支援するために車の送迎を行う人手が少なく、先行き不安な状況である。 (1) 高齢者が高齢者の送迎を行っている状況であり、「もし自分が送迎できなくなったら、高齢の交通弱者はどうなるのか」「高齢者が生きていくための手段を考えてほしい」とボランティアの方に訴えかけられた。共同募金 | 市長 所管部長 |

| | | | | |
|----|--|--|--|--|
| | | | 配分金の助成対象となる送迎支援の燃料費は1キロメートル当たり30円程度であるが、実態としてその金額では送迎はできないため、何らかの支援が必要と考えるがどうか。 | |
| 19 | 赤坂マリア 12月9日(金) 10:45~ ※一括 | 1 市長の政治姿勢について 2 環境問題について 3 移住・定住について 4 農林業について 5 子育て支援について 6 高齢者問題について 7 4年間の議員活動の振り返りについて | <p>亀岡市の未来について問う。 (1) 桂川市長は、あらゆる分野で積極的に市政運営され、数々の取組を行われてきたが、これまでの成果と今後の亀岡市について、どのようなビジョンを持っているのか。</p> <p>本市が制定した「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」について問う。 (1) 全国初の条例を制定し、世界に誇れる環境先進都市の実現に向けた取組が進められているが、これまでの成果は。 (2) 山間部には多くのポイ捨てごみがあるが、どのような対策を行っているのか。 (3) コンビニエンスストア等、全国にチェーン展開している店に限り、プラスチック製レジ袋の販売・提供を許可してはどうか。</p> <p>移住・定住について問う。 (1) 本市の移住・定住の取組として、子育てを含め、誰もが住み続けたいと思える持続可能なまちづくりを掲げているが、どのような対策を行ってきたのか。</p> <p>農林業について問う。 (1) 担い手を含め、本市の未来に向けた農業・林業について、どのように考えているのか。</p> <p>子育て支援について問う。 (1) 今後、未来の子どもたちに向け、どのような支援や取組を考えているのか。</p> <p>高齢者問題について問う。 (1) 今後、超高齢化社会を迎えようとしているが、生活に格差が出てきている中、本市としてどのように高齢者の生活を支えていくのか。</p> <p>人口減少が進む中、亀岡市には思いやりや職員の資質向上が必要である。 (1) 財源確保は必要であるが、職員の資質向上を支援する取組はできないか。</p> | 市長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長 |
| 20 | 齊藤 一義 12月9日(金) 13:00~ ※一問一答 | 1 亀岡フィルムコミッションについて | <p>令和4年9月16日の京都新聞朝刊に「ロケ地の宝庫亀岡発信へ」という記事が掲載されており、併せて別院中学校閉校に伴う小・中学校合同の運動会も掲載されていた。 (1) 吉川町にある「厨子二階」や閉校する学校</p> | 市長 所管部長 |

| | | | |
|--|--------------------------|---|------------|
| | | 跡地を、レンタルできる撮影スタジオとしてアピールしてはどうか。 | |
| | 2 地籍調査について | 土地に関する戸籍である地籍調査事業は、京都府下でも着手済みの市と未着手の市がある。土地や民家の売買時、山林整備や相続等の際には境界線の明確化が重要である。 (1) 地籍調査を行ってはどうか。 | 市長 所管部長 |
| | 3 オープンイノベーションセンター・亀岡について | オープンイノベーションセンター・亀岡について問う。 (1) 今年3月議会で可決した、オープンイノベーションセンター・亀岡の整備や運営の進捗状況は。 (2) 産学公連携事業の研究開発支援事業の例で無人自動運転EVバス実証実験とあるが、バスやタクシーの人材不足を補うため、無人自動運転EVバス実証実験をしてはどうか。 (3) 令和5年度に開業する箕面萱野駅(北大阪急行駅)と国道423号のバイパス改修を見据え、亀岡から箕面までの無人自動運転EVバス実証実験や新たなバス路線を検討してはどうか。 | 市長 所管部長 |
| | 4 市民の所得向上について | 以前に議会でも、市内事業者へ給与アップを要望したが、今年UAゼンセンが6%の給与アップを要求したとのニュースがあった。 (1) 亀岡市「生涯学習都市」宣言を行っている本市として「リスクリング」(学び直し)を推進するべきではないか。 | 市長 所管部長 |
| | 5 環境先進都市の推進について | 令和5年度予算編成方針には、地球にやさしい環境先進都市づくりとして「亀岡ふるさとエナジー(株)の活用など再生可能エネルギーの地産地消の推進」が挙げられている。 (1) さらなる環境先進都市の取組として、GX(グリーントランスフォーメーション)の推進と「みどりの食料システム戦略推進交付金」を活用した農・食品残渣を使用したバイオガス発電プラントを誘致し、地産地消の循環型環境先進都市を目指してはどうか。 | 市長 所管部長 |
| | 6 街かどピアノについて | 街かどピアノについて問う。 (1) 市民から多くの要望がある駅ピアノの設置が難しいのであれば、ガレリアかめおかに設置してはどうか。 | 市長 所管部長 |
| | 7 安全・安心について | 菫田野町柿花の国道372号と市道吉川菫田野線の交差点で事故が多発している。 (1) 事故防止の安全対策が急務と考えるが、どうか。 | 所管部長 |

| | | | | |
|----|---|---|---|---|
| 21 | <p>石野 善司 12月9日(金) 13:45～</p> <p>※一問一答</p> | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 さくら公園体育館周辺での駐車場確保について</p> <p>3 亀岡運動公園大体育館及びさくら公園体育館の管理・整備について</p> | <p>市長の政治姿勢について問う。</p> <p>(1) 少子化に歯止めをかけ、なるべく人口を減らさず、地域社会を維持していくことは、日本の人口における中心的課題と言える。また、日本ではウィズコロナ時代に突入するとともに、まもなく高齢化率が30%に到達しようとしている。そのような中、デジタルを活用することで、職員不足や業務の効率化、サービスの質の向上が図られていくと考える。特に、ICT弱者が多いとされる高齢者層を含め、「誰一人取り残さない、人にやさしい社会」を目指すことが必須になると考えるが、市長の所見は。</p> <p>(2) 少子高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者が増えている。近くに頼れる人がなく社会的に孤立したり、引きこもったりする人が増加しており、行政では終活相談サービスや居場所づくり、身寄りのない高齢者に寄り添った条例の制定などの支援に乗り出している。人生100年時代の今、最後に「お一人様」になる可能性は高まると考えるが、市長の所見は。</p> <p>(3) 来年は、関東大震災から100年目の節目の年である。有史以来、全国で発生した災害は各地に多大な被害をもたらし、それら災害の教訓は、各地域において、記録や図画、物語、ことわざとして伝承されているものや自然災害伝承碑などに記載されているものもある。このような災害にまつわる資料や情報は、体系的に整理されず、その多くが、各地域で埋もれたままになっており、全国的にも行政から発信される事例はあまり多くないと考える。身近な地域に残されている災害に対する教訓を市民や教職員等に周知し、防災意識の向上に役立てるとともに、防災教育用の教材として活用することが大いに期待され、万一の発災時には、減災効果も大きいと考えるが、市長の所見は。</p> <p>さくら公園体育館の敷地内にある駐車場は狭小であり、土・日・祝日等で、体育館とグラウンドの利用が重なれば、駐車できない状況である。</p> <p>(1) 現状を把握しているのか。</p> <p>(2) 駐車場の確保は、当初からの課題であったが、駐車場の確保に向けて、これまで対応してきたのか。</p> <p>亀岡運動公園大体育館及びさくら公園体育館の管理・整備について問う。</p> <p>(1) 亀岡運動公園大体育館の2階にブルーシートが敷いてあり、その上にバケツが数個置かれ、天井には、雨漏りの染みが全体に広がっているが、現状を把握しているのか。</p> | <p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> |
|----|---|---|---|---|

| | | | | |
|----|--|-------------------------------|--|------------|
| | | | (2) さくら公園体育館の南側の高窓に、日よけのブラインドが設置されているが、壊れたまま放置されている。現状を把握しているのか。 | |
| 22 | 菱田 光紀 12月9日(金) 14:45～ ※一問一答 | 1 平和池跡地の活用と水害の教訓を次代に伝える取組について | 昭和26年の平和池決壊による大惨事から71年という時間が経過した今日、この教訓を生かすための取組について問う。 (1) この教訓を伝承し、未来に生かす工夫をどのようにしているのか。 (2) 東日本大震災で決壊した藤沼ダム跡地で見つけた奇跡のアジサイを通しての関係者の交流と次代への継承活動について、どのように考えているのか。 (3) 平和池跡地の現状(面積、所有者など)は。 (4) 過去の教訓を生かしつつ、平和池跡地の有効活用をすべきではないか。 | 市長 所管部長 |
| | | 2 第5弾かめおか応援クーポンについて | 今議会に提出されている補正予算に第5弾かめおか応援クーポンが含まれている。 (1) 過去の利用状況は。 (2) これまでのクーポンは大型店で利用できないと市民から不満の声があったが、どのように捉えているのか。 (3) 亀岡市内に本社を有し、市政発展に積極的に取り組まれている大型店については加盟店舗に追加すべきではないか。 | 市長 所管部長 |
| | | 3 バルーンフェスティバルについて | 年明け早々にバルーンフェスティバルが開催される。 (1) 過去のイベントでの教訓を生かした安全対策はどのようにするのか。 (2) 優雅に浮かぶバルーンをより映えるように見せる工夫として、地域の農家に農地に水を張る協力依頼をしてはどうか。 | 市長 所管部長 |
| | | 4 亀岡光秀まつり50周年について | 亀岡光秀まつり50周年の節目を迎える来年度、亀岡のすばらしい伝統文化などを交えた、シティブロモーションの場にすべきと考える。 (1) 現時点での取組概要は。 (2) この機会を使って伝統文化など亀岡市のすばらしさを全国にアピールすべきと考えるがどうか。 | 市長 所管部長 |
| | | 5 林業振興と人材確保について | 市議会産業建設常任委員会では、林業振興について議論を重ねてきた。特に、人材育成の重要性を訴えてきた。 (1) 林業振興を図るには林務担当者の人材確保が重要であるが、現状と課題をどのように受け止めているのか。 (2) 農業面でのマネージャーと同様に林業担当のマネージャーを置く必要があるのではないか。 | 市長 所管部長 |